

6月



あの日のあの川 リレー日記 ～第62話～



あの日のあの川
リレーDiary

みなさんはどこの川でどんなことをした記憶がありますか？幼少期や青春時代に体験した川での記憶を日記として掘り起こして語るコーナーです。リレー形式で毎回次の人にバトンをつなぎます。

第62話主人公 井櫻吉乃

(筑波大学 社会・国際学群 国際総合学類 白川(直)研究室『川と人』ゼミ)

(■川ガール・□川系男子)

(出身地を流れる川：愛媛県石手川)

「私の学生時代と川」

いつのこと？：中学生、高校生

どこの川？：愛媛県石手川

皆さんこんにちは。安藤さんよりバトンを受け取りました、筑波大学白川研究室の井櫻吉乃です。私は高校生まで愛媛県松山市で育ちました。記憶をたどってみると、私が中学生、高校生と学生時代を過ごす中で最も身近に感じていた川が石手川という川だったように思います。私の実家から松山市の中心部に行く際には必ず石手川を渡ります。私の高校は中心部にあったため、高校生の頃は毎日通学の時に石手川を渡っていました。もちろん、中心部に遊びに行くときも渡っていたので、学生時代にはしょっちゅう石手川を渡っていました。そのような、長い間私の身近にあった石手川との思い出を掘り起こしてみようと思います。

まず、私の地元での学生時代を振り返る前に石手川という川について振り返ってみます。石手川は一級河川重信川水系の支流です。瀬戸内海の気候は降水量が比較的少ないと言われています。そのためでしょうか、石手川は通常はほとんど水が流れていないような川です。たまに大雨が降った日などの翌日はいつもの姿からは考えられないぐらいの量の水が激しい勢いで流れています。川沿いには公園やテニスコートがあり、春には桜がきれいに咲きます。遊びや散歩に訪れる人も多い川です。調べてみたところ「We Love 石手川 河川大清掃～河川環境改善による四国最大の親水空間の創出～」という活動が、地域の魅力や個性を創出している社会資本と地域活動を表彰する手作り郷土賞を受賞していたことがわかりました。地域の人たちによく利用されており、多くの人に愛されている川だと思います。

振り返ってみると、中学生のころは中心部に遊びに行く際に石手川を渡るだけでなく、学校の友達と石手川に遊びに行った思い出が多くあります。部活終わりや授業終わり、休日にも遊びに行きました。目的もなくふらっと行くこともあれば、みんなでお花見をしようと思ったこともあります。このリレー日記を書くにあたって学生時代に使っていた携帯の電源を久しぶりに入れて写真フォルダを見返したのですが、思ったよりも石手川で友達と撮った写真がたくさんあって驚きました。じっくり写真を見ていると、友達との楽しい思い出がよみがえってきました。冒頭の写真は、中学生の時友達と石手川公園駅という駅で降りて遊んでいた時に撮った写真です。

高校生のころは、毎日通学のため自転車で石手川に架かる橋を渡っていました。石手川は私の中で当たり前の景色でした。テスト期間で寝不足の日や部活終わりで疲れ切った日も毎日石手川に架かる橋を渡っていました。毎日当たり前にみる川なので普段何も考えずに通り過ぎていましたが、たまに大雨の次の日で流れる水の量が多い日はいつもと様子が違いすぎて面白いな—と思っていたことを覚えています。春に桜が咲いているときには、自転車から降りて写真を撮ることもありました。川と桜の組み合わせって、なんだかいいですね。季節を感じられることは私が川を好きな理由の1つです。いつもより早く学校に行くときには、地域のお年寄りの方たちが川沿いの公園でラジオ体操をしている姿が見えました。こうして思い出してみると、何気なく見ている景色にもたくさん思い出があったなあと思います。

このリレー日記を書く機会をいただいたことで、これまで私の中で日常の風景の中の1つだった石手川を改めて見つめなおすことができました。学生時代、私にとって石手川は友達との思い出作りの場や癒しを与えてくれる場でした。私の学生時代の日常に石手川という自然があったことを嬉しく思います。私は大学進学で地元を離れたのですが、社会人になるとともにまた、石手川の流れる地元に戻る予定です。社会人になってからはまた学生とは違う楽しさや忙しさがあるでしょう。それでも私の日常には石手川という川が変わらず流れていると思えば、安心した気持ちになれます。皆さんも、ぜひ今身近にある川を見つめなおしたり、川との思い出を掘り起こしたりしてみてください。

最後までお読みいただきありがとうございました。

(次は畑山拓海さんにバトンを託します)